

特別養護老人ホーム／デイサービス  
居宅介護支援(R4モデル事業参画)

事例

05 科学的介護情報システム (LIFE<sup>※1</sup>) の取り組み

1. 課題

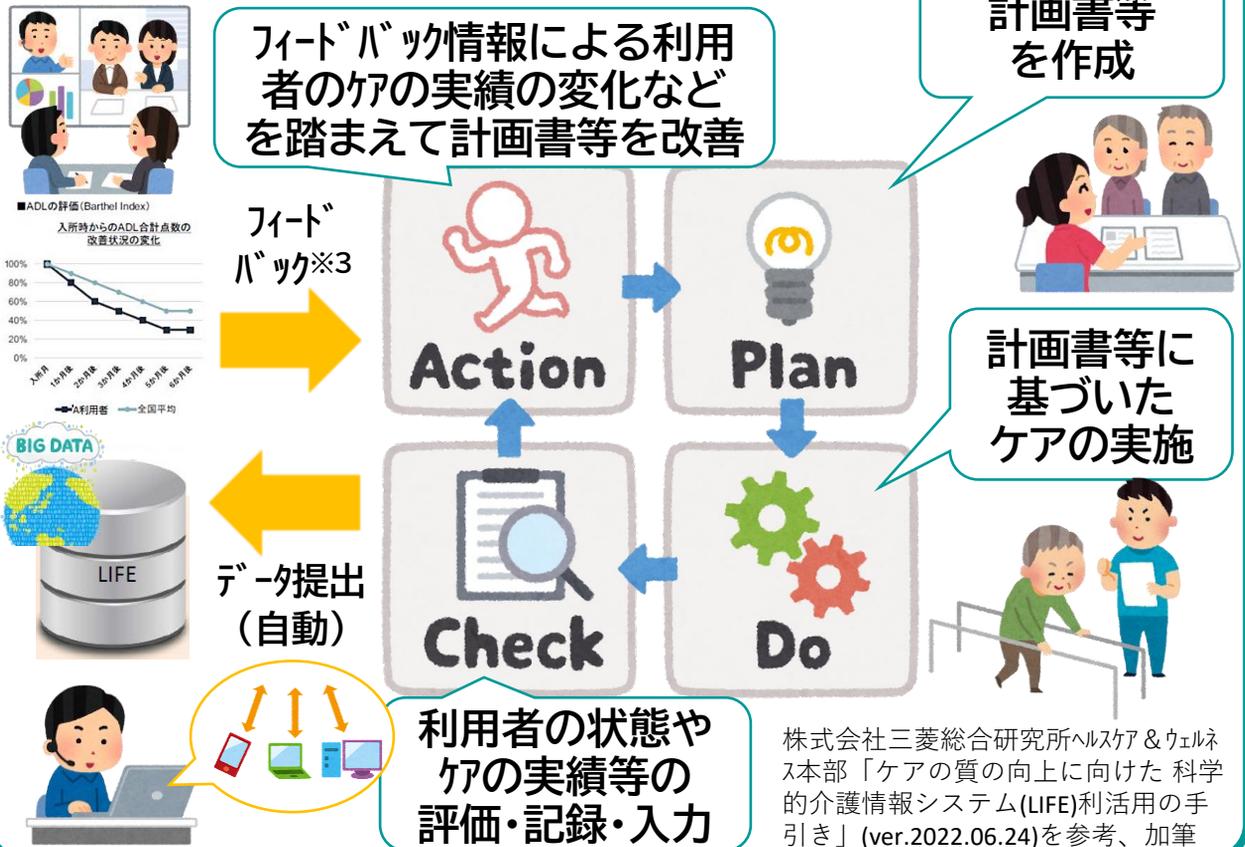
利用者の目線:

「自分らしい、自立した生活を送りたい (自立とQOL<sup>※2</sup>)」

職員の目線 :

「“介護福祉サービスの質向上”と同時に“負担を軽減”するには、エビデンスに基づいて“ケアの最適化”を図っていく必要が。そのためには構築したデジタルネットワーク環境を最大限活用することが不可欠」

2. 「LIFE」のPDCAサイクル



厚生労働省HP「科学的介護情報システム(LIFE)について」

- ※1) ○介護サービス利用者の状態や、介護施設・事業所で行っているケアの計画・内容などを一定の様式で入力すると、インターネットを通じて厚生労働省へ送信され、入力内容が分析されて、当該施設等にフィードバックされる情報システム
- 介護事業所においてPDCAサイクルを回すために活用するためのツール (出典：厚生労働省)
- ※2) 生活の質 (Quality of Life)
- ※3) 「科学的に妥当性のある指標等を現場から収集、蓄積し、分析の成果を現場にフィードバックして、更なる科学的介護を推進」につながる (出典：厚生労働省)



社会福祉法人 鈴鹿福祉会  
鈴鹿グリーンホーム



鈴鹿グリーンホームHP